

## 根木内歴史公園 観察会

2017. 6. 17 参加6名 西澤

梅雨の季節に入ったはずなのに今日も青空、その青空をオオタカラしきものが悠々と舞っていたのを見たラッキーな方の報告から観察会は始まった。

ジャヤナギの木に花が、いや、どうやら寄り添うようにたつネズミモチの花らしい。その下にはスギナにまじってワルナスビがたくさん見られる。池ではアシに負けじとミクリ、マコモが茂っている。ヒエガエリ、カズノコグサは茶色になっている。カワヂシャは水分を欲しそうな感じ。ソクズ、ヨウシュヤマゴボウはツボミをつけていた。山側湿地に入るとミゾソバの葉にハグロトンボが止まっている。光の加減で胴が青にも緑色にも見えてとてもきれい。よく見ていたらヒラヒラとたくさん舞っている。10頭以上いたのだろうか？根木内でハグロトンボを見るのは初めてか？しばらく皆で見とれていた。今年には特に多く見られるとの話でした。田んぼも水が少なくなっており、苗の間にアメリカアゼナ、イボクサ、セリ、タデ（ヒレタゴボウか）などを見る。アゼナルコ、ミコシガヤも見られたが先月より減っている。イ、コゴメイ、フトイ、ヤガミスゲは夏に向かって穂を出している。アシの間にはヤブマメがからみつき、コヒルガオの花もかわいらしい。いつの間にかヒメジヨンの花がハルジオンにかわって咲いていた。

アゲハ、キアゲハ、ベニシシジ、モンシロチョウ、ツマグロヒョウモン、ジャノメチョウ、シオカラトンボ、オオシオカラなどの虫が気持ちよさそうに飛び交う。どれも色がとてもきれいだ。トンボ池にウシガエルの卵が沢山みられたが、あれが全部カエルになったらちょっとやっかいだ。アカガエルは姿を見せない。今年には少ないのかな。卵も少なかったように思う。湿地にアメリカネナシグサが広がっており、これも広がるとやっかいだということで抜き始めた。ポリ袋2つ分。でもまだ取り切れていない。

広場のムクゲの葉に先月もいたラミーカミキリ、今日はいくつも見られた。図鑑に載っている色は薄緑だが、ここのラミーくんは薄青色で最初はルリボシカミキリかと思っってしまった。ラミーは外来種、こうなると国産のルリボシを見てみたいものだ。ナツツバキの白い花がひっそりと咲いていた。ロウバイのガサガサした葉の間を探してみると実がついていた。二つずつ並んで小さなホヤのような形。太陽をあびたミズキの葉の上には実がびっしりついている。エゴノキは白くて小さな花が終り、可愛い実をたくさんぶらさげている。その中にバナナのような形もあり、エゴノネコアシフシという虫こぶで、虫こぶということで、切ってみる。中には小さなダニ（アブラムシ）のような虫がウジャウジャいた。これらの虫はこのあとどうなるのかな。オトシブミとも違う虫のような気がするけれど。葉うらに干からびそうなカタツムリがいたりして、時には雨も必要かなと感じた。来週あたりは雨になるだろう。

